

## 平成30年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名： 幼児キャンプ 2018 ～やってみよう妙高！～

期間： 平成30年8月17日(金)～8月19日(日) (2泊3日) 夏キャンプ  
平成31年1月25日(金)～1月27日(日) (2泊3日) 冬キャンプ

対象及び参加人数：4、5歳児の幼児とその家族 夏：20家族 冬：13家族

目的：幼児の自然体験機会、基本的な生活習慣の育成、社会性の育成

保護者の子育て支援

保育士の資質向上

学生ボランティアスタッフの資質向上

事業概要：幼児期における自然体験活動の機会として、全国の幼児(4、5歳児)とその保護者を対象に夏・冬の年2回実施した。

夏には、森遊びや野外炊事、キャンプファイヤーや源流探検などを行った。

冬には、雪像づくりや餅つき、深雪体験などを行った。

### 成果

- ① 初めてのことや難しいことにも挑戦しようとする姿が多くみられた。
- ② グループでの活動時には幼児だけで話し合いをする場面が見られた。
- ③ 保護者にとっては、わが子の意外な一面を再発見するよい機会となった。
- ④ 保護者と妙高市園指導主事、施設担当職員が参加した情報交換「子育てカフェ」では、子育てに関する思いを共有できた。
- ⑤ 妙高市内の園保育士が企画や運営に携わったことで、保育士自身の指導・支援の資質が向上した。
- ⑥ 学生ボランティアスタッフが活動支援の補助を行ったことで、幼児とのかかわり方など、実体験を通して学ぶことができた。



### 課題

- ① 包丁や火の扱い、森探検や深雪体験のコース設定など、学びのリスク(安全管理)とのバランスのとり方
- ② イレギュラーな場面での、スタッフ(保育士、学生、施設職員)間での意思疎通、共通理解